

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 6月 9日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2772202012		
法人名	株式会社 オーナーズ		
事業所名	グループホーム ジョイフル 小路		
サービス種類	指定介護予防認知症対応型生活介護		
所在地	大阪市生野区小路東四丁目5番16号		
自己評価作成日	平成 22年 5月 20日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 6月 4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

その人らしい生活が少しでも長く継続できるように支援する事。
職員の離職が少なく利用者・家族とも馴染みで信頼関係が築けている事。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは生野区の今里筋より東に入って、勝山高校の近くにあり、住宅や倉庫、工場が混在しているが、騒音は少ない地域で、マンションの1階の一部にある。
開設以来4年7ヶ月で、職員は殆ど退職することがなく、全員が経験3年以上のベテラン職員ですから利用者も気心が知れ、打ち解けて毎日の生活を楽しく過ごしている。
管理者は、ケアのスキルアップの情熱を持って、職員と共に活動し、指導を実施している。その上、運営者も毎週来訪し、利用者が運営理念の「ゆっくり・楽しい・その人らしい暮らし」をされている現状を温かく見守っている。
尚、当地区では、地元の自治会と銭湯のご協力があり、割安料金で毎週水曜日に利用できるのも、利用者はそれを楽しみとしている

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域と共に歩む事業所の理念を管理者・職員は共に話し合い理念を共有し、実践につなげている	毎月、第3水曜日に職員会議を開催し、理念の実施について、具体的な反省と指導をしている。運営者も原則として参加している	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	地域の住民として、町会費・行事などに参加し地域の住民として日常的に交流をしている	当初から地域自治会に参加している上、地域の各種行事にも参加している	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所は、認知症の人を实践を通して積み上げた知識・経験を活かし、地域の人たちとの関わりを持つ事で、より深く理解してもらえる	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議に出席された方の意見・助言・要望・評価を頂を職員の全体会議で話し合い、今後のサービス向上に活かしている	運営推進会議でご出席の各委員さんから、その都度、行事や情報、及び、見聞した情報を頂き、介護に役立たせている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区の担当者・サポーターと連絡を日頃から密に取り事業所の実情ケアサービスの取り組みなどを伝え、協力関係が築けるように努めている	区役所の方が毎月来訪され、その都度、参考になる情報を頂いている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	職員は言葉・身体拘束をしないという事を会議での話し合いなどで何度も確認しながら、拘束0のケアに努めている。玄関ドアの開放は施設近辺の道路状況により無理があるが利用者の状況をみながら開閉している	職員会議で管理者は毎回、各種の研修を計画し、また、マニュアルに合った内容の研修を職員と実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は職員達と話し合いを多く持ち、利用者に対する言動に行き過ぎがないか注意を払い、虐待防止に努めている		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括支援センターに相談したり、研修などで学ぶようにしている		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時に利用者・家族に文書を読み上げながら説明し疑問点を尋ねながら確認している。解約・変更がある時も同じである		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者・職員は利用者・家族の意見・要望・日頃のなにげない会話などを受け止め会議で話し合い、運営に反映させている	少人数でもあり、日ごろから日常の何気ない会話の中からも、希望を受け止めるようにしている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	代表者は、施設訪問時にさりげなく職員に利用者の近況を尋ねながら運営に関する意見・提案を聞きそれを反映させている	代表者は毎週のように来訪し、利用者とも触れ合い、話し合い、又、職員も代表者と自由に話し合っている	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員個々の勤務状況・努力・実績などを把握し給料などに反映している。各自向上心・やりがいを持ってもらうために研修などにも力を入れている		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人ひとりの力量を把握し、希望の研修があれば時間の調整・費用の全額負担などでバックアップし職員を育てる取り組みをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	勉強会・研修・懇親会と職員達に交流の機会を多く作りお互いの情報などを交換しサービスの質の向上を図り相好訪問の活動に取り組むように努力している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	本人の困った事・不安な事・要望を何度も傾聴し、安心してサービスの利用開始にお互いの信頼関係を築けるように努めている		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族の困っている事・要望をじっくりと傾聴し不安な気持ちを取り除きながら、お互いの信頼関係を築いていくように努めている事		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	まず何から支援する事が優先か、他のサービス利用も視野に入れ、「その時」必要に応じたサービス利用の支援に努めている		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員は利用者とは顔馴染みで、時には利用者の嫁・子供になったりし、家族という意識で日々接し、良い関係が築けている		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	家族とは、利用者が生活していく中で必要不可欠な存在、職員は本人と家族の絆を大切にしながら、支えあう関係が築けるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	施設行事の案内状・年賀状。馴染みの人達が集まる銭湯・バス旅行などで馴染みの関係が途切れないように努めている。	ご家族は時々であり、馴染みの方々の来訪は殆どない	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	フロアに集いゲームカラオケなどで利用者同士の関わりを多く持ち、皆が支え合うような支援ができるように努めている		
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	契約を終了しても継続的な関係性を大切にしながら、必要の際は本人・家族をフォローし、相談や支援に努めている。		
		サービス利用（契約）が終了しながら、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握	一人ひとりの主訴・生活暦を大事にし、その人らしい暮らしが継続できるように努めている。	記録様式はセンター方式を採用しており、寄り添いながら話し合っ、聞き出している	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	これまでの生活暦を把握し、馴染みの生活が長く続けられるように努力している。		
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	その日の言動・心身状態を個人ケースに細かく書きいれ職員全員が同じ情報を持つ事で本人のその日の過ごし方がよく分かるようにしている。		
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意見・要望など、課題を抽出しホーム関係者・本人・家族で話し合い意見・アイデアなど介護計画に反映させ、作成するように努めている	管理者は、利用者のレベルの維持に配慮し、医師等の指示を頂いて個別のリハビリを行っている	
		○ 個別の記録と実戦への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている	本人のその日、その時の状況を個人ケースに事細かく書き入れ職員全員で情報を共有している。又、申し送りなどで意見・アイデアがあった時は介護計画の見直しをしている		
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況を把握し、その時々ニーズに合わせて、本人・家族に対して負担がかからないように柔軟な支援に取り組んでいる		
		○ 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりが、これまでの暮らしを支えてきた地域資源を把握し本人の現状の生活と協働できるように支援している		
30	11	○ かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人・家族の意見・希望を尊重しその旨、かかりつけ医に伝え相談する。治療方針を本人・家族にかかりつけ医から説明してもらう。事業所は双方のパイプ役として適切な医療を受けられるように支援する	かかりつけの内科医師及び、歯科医師が、毎週1回、往診している	
		○ 看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	職員は日々の関わりの中で気づき・変化などを職員同士で情報を共有し、訪問看護師に伝え、相談し適切な受診・看護を受けられるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者の身体状態の悪化・骨折などによる突如な状況でも提携病院での受け入れ先がある事で本人・家族は安心して退院できるように病院関係者との情報交換や相談に努めている</p>			
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ホームでの生活がどこまで可能なかわからないが本人・家族・主治医との話し合いで事業所としてのできる範囲を説明しながら方針を共有し地域と共にチームで取り組むようにしている</p>	<p>入所時の契約により、ご家族と医師との話し合いをしているが、職員に対し、この件については今後のこともあり、研修を検討している</p>		
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変・事故などが発生した場合はその時の状況によりすみやかな対応ができるような訓練・研修を受けている</p>			
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	<p>職員は年2回の消火訓練・避難訓練を夜勤帯を設定して受けている地域の方達には運営推進会議などで協力を頼んでいる</p>	<p>消防署員による避難訓練を受け、マニュアルの確認もしている。スプリンクラーは設置済みである</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	<p>長く築き上げてきた生活暦のなかには本人の自尊心・誇りがある。職員は一人ひとりの人格を尊重しプライバシーを損なわないように言動に注意している</p>	<p>職員同士の言葉遣いについて、注意をし合っているし、更に、職員会議でも指導している</p>		
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々の関わりの中でさりげなく本人の希望や思いを表出し自己決定できるように働きかけながら実行していくようにしている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	職員は利用者のその日の体調・気分などを観察しゆっくりと落ち着いた、一人ひとりの希望に沿った生活を支援している。		
		○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している	好みの服・季節に合った服をセットし本人にさりげなく更衣してもらおう。理・美容なども好みの店に通えるように支援している。		
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎月1回は施設行事にて利用者と一緒にクッキングとして食事の下ごしらえ・準備・片づけにと各自が持てる力を活かしながら楽しんでいる	メニューは食材共で仕入れとなっているが、希望によって適宜にメニューを作っている。カロリー、体重管理は問題ない	
		○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事・水分摂取量をケースにて記録。管理栄養士が栄養状態をチェックをし習慣に応じた支援をしている		
42		○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている	週1回の訪問歯科・毎食後の口腔・義歯洗浄口腔内の状態などを点検し口腔内の清潔保持に努めている		
		○ 排泄の自立支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握しトイレでの排泄を心がけ習慣づけるようにし、排泄の自立に向けて支援していくようにしている	排泄管理表に従って、一人ひとりを誘導し、支援している	
44		○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	消化の良い食事に義歯租借・嚥下の状態により飲食物の工夫をし運動などの声かけをしている。又毎日の排便を記録しその人に応じた予防をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人のその日の体調・希望にあわせて入浴してもらっている。地域行事で毎週水曜日の「ふれあい銭湯」での入浴やゲームなどで楽しんでいる	ホームでの入浴には、出来るだけ希望に応じて対処している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を把握・居室・共有の場の環境整備にて本人が落ち着いて休息でき又居室にて安心して気持ちよく眠れるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	個人ごとに本人の服薬に関する説明書があり確認している。変化があった時は訪問看護師に連絡・指示をもらう		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日がマンネリにならないように、一人ひとりに役割を持ってもらい、気分転換に喫茶店食堂などへ行き、個人ごとの支援をしている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩・買い物へは毎日何度も出かけている。昨年地域バス旅行に利用者2名が参加・提携病院と合同でホームの全員がバスで日帰り旅行を楽しんで来ました	食材やおやつのお買い物を散歩の際にして、楽しんで頂いている。バス旅行は今年も企画中である	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	基本的にはホーム内でのお金の所持は控えてもらっている。本人が買い物を希望したり、散歩がてら、おやつを買ったりする時は本人に前もってお金を渡している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	本人が家族などに電話をしたり手紙を書きたい時は叶えられるように支援している+C25		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	共用の場での不快な音や光などの刺激は取り除き、全体が明るく温かみのあるように配慮している。又、目の付くところにカレンダーなど季節がわかるようにしている	ソファが、へたって来て立ち上がり、やりにくくなったので買い換えている。又、職員と共同の作品もあるが、年々、製作が出来なくなって来ている	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で独りになったり、気の合った人同士が自由に過ごせるような家具などの配置をしている+B27		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	今まで自分が使い慣れた物や好みの物を本人や家族と相談して持ってきて頂き、引越しによる混乱が少しでも和らぐように居心地よく過ごせるようにしている	殆どの個室はベッドと備え付けの整理箆箆だけとなっている	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの部屋に大きな文字で名前を、トイレ・お風呂などにも絵・のれんなどでわかるようにし、安全に生活が送れるような環境整備の工夫をしている		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者の
			② 利用者の2/3くらいの
			③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	① 毎日ある
			② 数日に1回程度ある
			③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての家族と
			② 家族の2/3くらいと
			③ 家族の1/3くらいと
			④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	① ほぼ毎日のように
			② 数日に1回程度
			③ たまに
			④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	① 大いに増えている
			② 少しずつ増えている
			③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての職員が
			② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	① ほぼ全ての家族が
			② 家族の2/3くらいが
			③ 家族の1/3くらいが
			④ ほとんどいない